

新大陸発見に向けて

校長 鈴木 薫

6月1日の学校再開以降、美瑛中学校版「学校生活で気をつけること」をもとに、着々と授業を行っています。ただ、例年だと、体育祭、中体連大会など、メリハリとなる行事がありますが、今年はひたすら6時間授業が続いています。子どもたちは少々疲れ気味です。当初ずっと6時間授業の予定でしたが、一部5時間授業にするとともに、再開後一ヶ月以上経ったので、プチ面談（短時間の個別教育相談）を計画しました。

前号で検討中としていた体育祭と文化祭についてです。職員の文化祭担当チームが「with 離れていても ひとりじゃない」をコンセプトに体育祭と文化祭を合体させた学校祭の原案を作成しました。本紙5月号に「新しい挑戦」として「なんとか楽しい思い出も残したいものです。」と記載しましたが、それを受けて検討された原案です。職員会議においても満場一致で決まりました。9月19日（土）に実施予定です。現在、生徒会が具体的な内容の検討に入っています。あまり多くはお知らせできませんが、三密を防ぐために外で行います。始めに体育祭的な種目を行い、その後文化祭的な内容になります。映像は校舎の壁面をスクリーンにしてプロジェクターで大写しする予定です。それもあって、いつもより終了時間を遅くしなければなりません。「暗い」ということも活用し、スペシャルな学校祭を企画しています。ただ、職員には、「いつもの体育祭、文化祭を定期航路としたら、今年は新大陸を発見するような航海である。万全の計画と対策を講じ、新大陸を発見して、無事帰港してこそ意味がある。途中で沈没したら何もならない。多くの学校が新大陸発見をあきらめている中、何が何でも発見したい」と話しました。「このような中でもできる、このような中だからこそできる学校祭」に乞うご期待！

さて、私もずっと出かけるのを自粛していました。短い夏休み、「どうみん割」を使って妻とどこかの温泉に行こうかと思いましたが、一次も二次もぜんぜん申請できませんでした。Go To トラベルキャンペーンに期待です。ただ、この原稿を作成している7月15日現在、北海道の感染は一段落しているように見えますが、東京都を中心に全国的には増加傾向にあります。このキャンペーンも時期尚早との声もあります。人の動きもどんどん増えてきているように思います。やっぱりまだ自粛した方がいいかな？迷います。

～最後の大会に向けて～

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中体連の大会が中止になってしまいました。そのため、

各競技団体ごとに中体連の代わりになる大会を7月から8月にかけて開催します。今ほどの部も大会での活躍を目指して練習に励んでいます。3年生にとっては最後の大会。有終の美を飾ってほしいと思います。



到達度テストが始まりました

本校では、今年度より到達度テストを導入しました。単元や題材ごとに行う到達度テストは、テスト範囲が狭まることで何を学習すれば良いかが、分かりやすくなるというメリットがあります。早速6月中旬より各教科で到達度テストが始まりましたが、計画的に家庭学習に向かう習慣が以前よりも定着してきていると感じます。これからも継続的な学習への取組に期待しています。



和楽器「箏」に親しもう

音楽科の授業では、6月の学校再開以降は感染予防のため歌唱の授業を控えていました。その代わりに、全ての学年で「箏（お琴）」に取り組んでいます。練習を重ね、今では多くの生徒たちが上手に「さくらさくら」を演奏できるようになりました。音楽室からは、いつも素敵な箏の音色が響いています。



